

令和7年産水陸稻の収穫量の補足資料

関東農政局統計部

【静岡県の作柄概況】

(生産者が使用しているふるい目幅ベース)

1 水稻

(1) 静岡県における令和7年産水稻の主食用作付面積は1万4,700ha（前年産に比べ300ha増加）となった。

(2) 10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅(1.85mm)ベース）は、505kg（前年に比べ+33kg、対前年比107）となった。これは、前年に発生した豪雨等による穗発芽等の被害がなかったことに加え、分げつ期に当たる6月下旬以降、日照時間が前年を上回って推移したことから穗数がやや多くなり、その後もおおむね天候に恵まれたことにより1穂当たりもみ数もやや多くなったことから、全もみ数（穗数×1穂当たりもみ数）は「多い」となり、また、千もみ当たり収量は、出穂期以降、おおむね天候に恵まれたことにより「前年並み」となったためである。

(3) 以上のことから、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、7万4,200t（前年産に比べ6,200t増加）となった。

(4) なお、静岡県の作況単収指数は104となった。

2 陸稻

本年産については、主産県を調査の対象としているため本県の調査は実施していない。

図 水稻の10a当たり収量

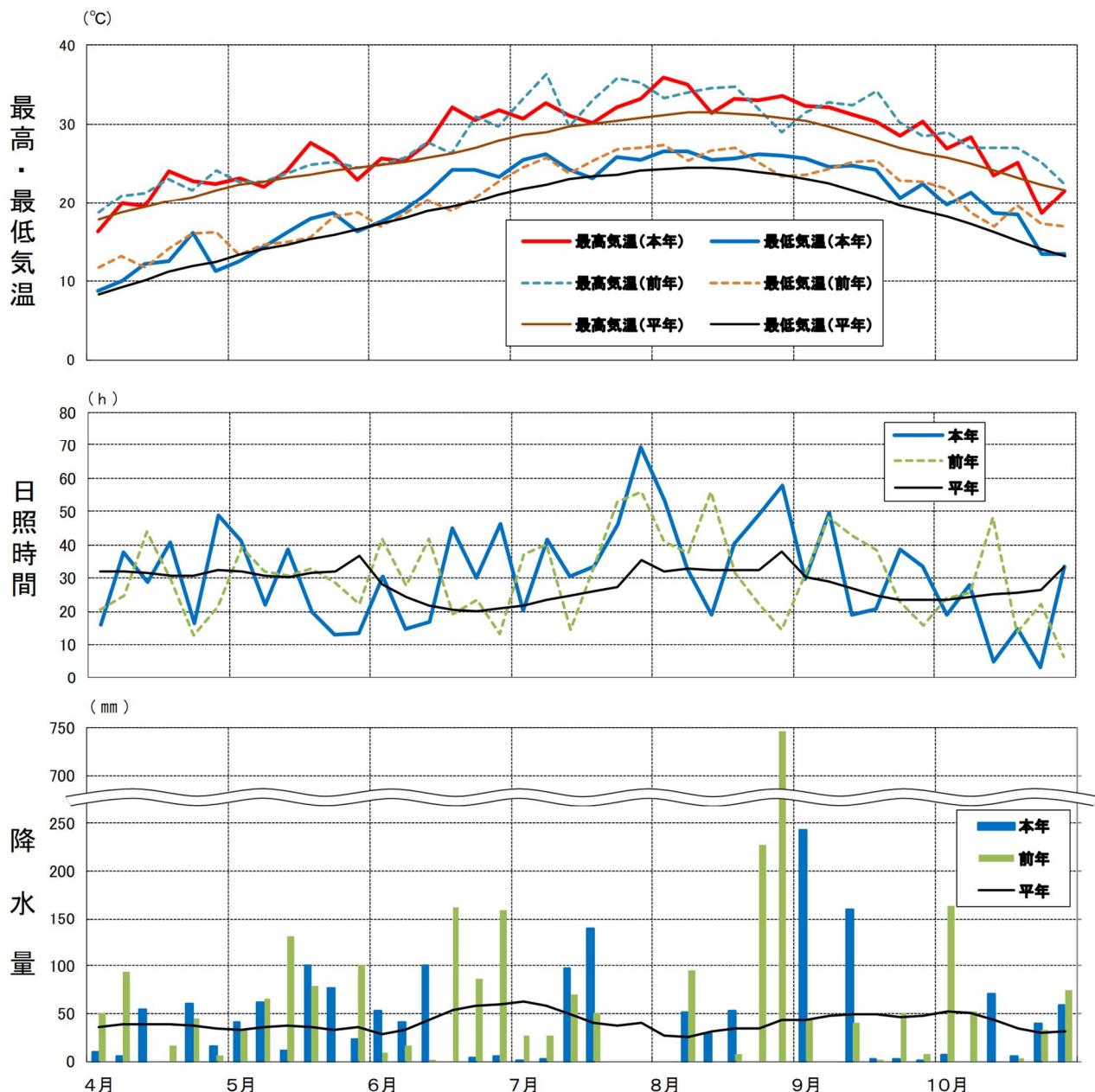
静岡県
505(kg)
(前年差+33(kg))
(対前年比107)



○ この資料は、「令和7年産水陸稻の収穫量」12月12日公表の補足資料として作成したものです。

詳細については同公表資料を御覧ください。

令和7年 半旬別気象（静岡）



資料：気象庁

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
 【 https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/kohyo/2025kekka.html#R07PR04_22 】

二次元コードはこちら→



お問合せ先

◎本統計調査結果について

関東農政局 静岡県拠点 統計担当

電話：054-246-6123